

PRIMEQUEST3000/2000/1000 シリーズ上での VMware vSphere 6 におけるサーバ監視の留意事項

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
PRIMEQUEST3000/2000/1000 シリーズに標準添付されているサーバ監視・管理ソフトウェア「ServerView Operations Manager(SVOM)」、「ServerView ESXi CIM Provider」、「ServerView RAID Core Provider」及び「ServerView RAID Manager」につきまして、VMware vSphere 6.x(以後、VMware vSphere 6 と略します)を利用する際は以下の留意事項があります。
導入前に必ず本書をお読みのうえ、ご使用くださいますようお願いいたします。

【表記】

本書では、VMware vSphere 6 の各コンポーネント名称を以下のように略して表記します。

コンポーネント名称	本文中の表記
VMware vSphere ESX	ESX
VMware vSphere ESXi	ESXi

【重要】

VMware vSphere 6 では、ハイパーバイザーが ESXi のみであり、ServerView で監視できない項目や利用できない機能があります。機能差詳細については、当社担当営業・SE へお問い合わせをお願いいたします。

VMware vSphere 6 では、監視対象サーバ用エージェントソフトウェアに、ServerView Agents 又は PRIMEQUEST Server Agent ではなく、ServerView ESXi CIM Provider、ServerView RAID Core Provider 及び ServerView Mission Critical Option for VM(PRIMEQUEST 1000 シリーズのみ)を使用します。また、MMB WEB-UI を使用して、サーバ監視・管理を行うこともできます。

※ vCenter Server が提供する Proactive HA 機能を使用する場合、ServerView ESXi CIM Provider を使用した監視が必要となります。Proactive HA 機能を使用する VMware 環境のサーバ監視・管理においては vCenter Server による監視と、MMB WEB-UI を使用した、サーバ監視・管理を併用できます。

MMB WEB-UI を使用したサーバ監視・管理についての詳細は、以下のマニュアルに参考になしてください。

- ・ FUJITSU Server PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス
- ・ FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス
- ・ FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス

【留意事項:各ソフトのインストール】

1. 監視対象サーバ用エージェントソフトについて

ESXi をインストールしたサーバを監視するためには、ServerView ESXi CIM Provider、ServerView RAID Core Provider をインストールするか、MMB WEB-UI を使用して、サーバ監視を行ってください。

※ ServerView ESXi CIM Provider は、富士通専用のインストールイメージ / オフラインバンドルにあらかじめ含まれています。富士通ダウンロードサイトでは、これらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider が公開されている場合があります。

※ ServerView RAID Core Provider は、富士通専用の ESXi 6.0 Update3e 以降、ESXi6.5 Update1 以降、ESXi6.7 のインストールイメージ / オフラインバンドルにあらかじめ含まれています。なお、富士通ダウンロードサイトではこれらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider が公開されている場合があります。

※ 富士通ダウンロードサイトでは ServerView RAID Core Provider は ServerView ESXi CIM Provider に同梱されています。

ServerView Agents、ServerView Agentsless Service、PRIMEQUEST Server Agent および、ServerView Operations Manager は、ESXi ホスト自身にはインストールできません。

監視対象サーバ(利用環境)とインストールが可能な監視ソフトの種別については以下をご参照ください。

【監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャソフトのインストール可否】

監視対象サーバ		ESXi	ESXi 上の Guest OS	Windows	Linux
ソフトウエア名称	ServerView ESXi CIM Provider	○	×	×	×
	ServerView RAID Core Provider	○	×	×	×
	ServerView Agents	×	×	○	○
	ServerView Agentless Service	×	×	○	○
	ServerView RAID Manager	×	○	○	○
	ServerView Mission Critical Option	×	×	○(*1)	○(*2)
	ServerView Mission Critical Option for VM	×	○(*3)	×	×
	PRIMEQUEST Server Agent	×	×	○(*4)	○(*4)
	ServerView Operations Manager (SVOM)	×	○	○	○

○: インストール可

×: インストール不可

※ ServerView Operations Manager / ServerView RAID Manager を利用して、ESX/ESXi を含むシステムを監視・管理する場合は、別途管理用のサーバ (Windows または Linux、仮想マシン上のゲスト OS でも可) が必要です。

*1: PRIMEQUEST 1400S2Lite/1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 の場合のみ

*2: PRIMEQUEST 1400S2Lite/1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 および、PRIMEQUEST 2000 シリーズの場合のみ

*3: PRIMEQUEST 1000 シリーズにインストールされた VMware vSphere 6 上の Guest OS (Redhat5/Redhat6/Windows Server2008/ Windows Server2012) の場合のみ

*4: PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L の場合のみ

【留意事項: ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider】

1. ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider のインストールについて

ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider は、「VMware vSphere CLI」の「esxcli」コマンドを使用してインストールします。

インストール手順の詳細については、下記のインストールガイドをご参照ください。

VMware vSphere ESXi 6.0: ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider
VMware vSphere ESXi 6.0 インストールガイド

VMware vSphere ESXi 6.5 / 6.7: ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider
VMware vSphere ESXi 6.5 / 6.7 インストールガイド

2. ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider の機能について

VMware vSphere ESXi 6 用の ServerView ESXi CIM Provider は、イベント通知機能として、CIM Indication (ServerView Agents の SNMP トラップに相当) を使用します。

これにより、ServerView Operations Manager を使用することで、ServerView ESXi CIM Provider からの CIM Indication を受信でき、アラームアクション (メール送信、ServerView Operations Manager がインストールされたシステムへのイベントログ記録など) を実行できます。

なお、ServerView ESXi CIM Provider による SNMP トラップ送信 (SNMP は使用できません) / イベントログ (ESXi のシスログ) 記録のアラート機能は未サポートです。

ServerView RAID Core Provider にはイベント通知機能はありません。ストレージに関するイベント通知は ServerView RAID Manager を使用してください。

ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider で使用できる機能については本ドキュメントの「監視対象サーバ別機能比較」をご参照ください。

3. ESXi のアップグレードを行う場合

VMware vSphere ESXi のアップグレードを行う場合、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core

Provider をアンインストールし、アップグレード後に再インストールすることを推奨します。

※ 富士通専用のインストールイメージ / オフラインバンドルを用いてアップグレードを行った場合、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider は自動的にインストールされます。なお、富士通ダウンロードサイトではこれらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider が公開されている場合があります。

4. ServerView Operations Manager のサーバ監視について

ServerView Operations Manager を利用して VMware vSphere ESXi 6 のサーバ監視を行うには、別途管理サーバ (Windows/Linux 上で動くサーバ、ゲスト OS でも可) を準備して、ServerView Operations Manager をインストールする必要があります。

VMware vSphere ESXi 6.0 のサーバ監視を行うには、ServerView Operations Manager V6.31.03 以降が必要です。VMware vSphere ESXi 6.5 以降のサーバ監視を行うには、ServerView Operations Manager V7.20.08 以降が必要です。

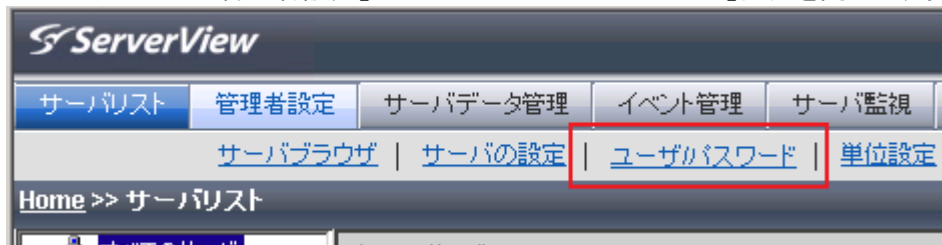
※ 対象のサーバは、ServerView Operations Manager の監視対象機種である必要があります。各版数の ServerView Operations Manager の監視対象機種については、ダウンロードモジュールに添付の Readme を参照してください。

なお、VMware vSphere ESXi サーバに対して、複数クライアントから情報収集等のアクセスが同時に行われた際、正常に応答が返らない場合があります。1 台の VMware vSphere ESXi サーバを複数の ServerView Operations Manager から監視する運用は推奨しません。

5. ServerView Operations Manager への VMware vSphere 6 サーバの登録方法

ServerView Operations Manager で ServerView ESXi CIM Provider を利用して VMware vSphere 6 サーバの監視を行うためには、以下の手順でサーバの登録を行う必要があります。

- ① サーバリストから「管理者設定」メニュー→「ユーザ/パスワード」画面を開きます。



- ② 「ユーザ/パスワード」画面において、VMware vSphere 6 サーバにアクセス可能なユーザ名/パスワードを設定し、ノードタイプを「VMware」に設定します。

ユーザ/パスワード設定

	ユーザ名: *	パスワード: *	パスワード確認: *	ノードタイプ:	Set name:	Comment:
<input type="checkbox"/>	admin	BMC	iRMC	Administrator
<input type="checkbox"/>	root	Citrix	Citrix	root user
<input type="checkbox"/>	root	VMware	VMware	root user
<input type="checkbox"/>				すべてのタイプ		
<input type="checkbox"/>				すべてのタイプ		
<input type="checkbox"/>				すべてのタイプ		

*必須項目

※ サーバリストへの登録には CIM 相互作用の権限を持ったユーザ名/パスワードが必要になります。該当の権限を持ったユーザの作成方法は『ServerView Operations Manager』取扱説明書の「読み取り専用ユーザを使用して、ServerView Operations Manager と ServerView RAID の両方またはいずれか一方で VMware ESXi ホストを監視する」の項を参照願います。

※ VMware vSphere ESXi 6 以降では、SSH 経由、及び vSphere Web Services SDK 経由のアクセスでアカ

ウントのロック機能がサポートされています。

「ユーザ/パスワード」の組み合わせが多数登録されている場合等、上記アカウントロック機能により、ESXi サーバにアクセスできない場合があります。

詳細については、VMware vSphere ドキュメント センターの「ESXi のアカウント ロックアウトの動作」を参照願います。

アカウントロックを抑止するには、以下の対処を実施してください。

ESXi 6.0 で vSphere Client を使用する場合：

1. VMware vSphere Client を起動し、対象の ESXi サーバにログインします。
2. 「構成」タブ⇒「ソフトウェア」⇒「詳細設定」をクリックします。
3. "Security" を選択し、「Security.AccountLockFailures」の値を 0 に変更します。
(0 を設定するとアカウントロック機能が無効となります)

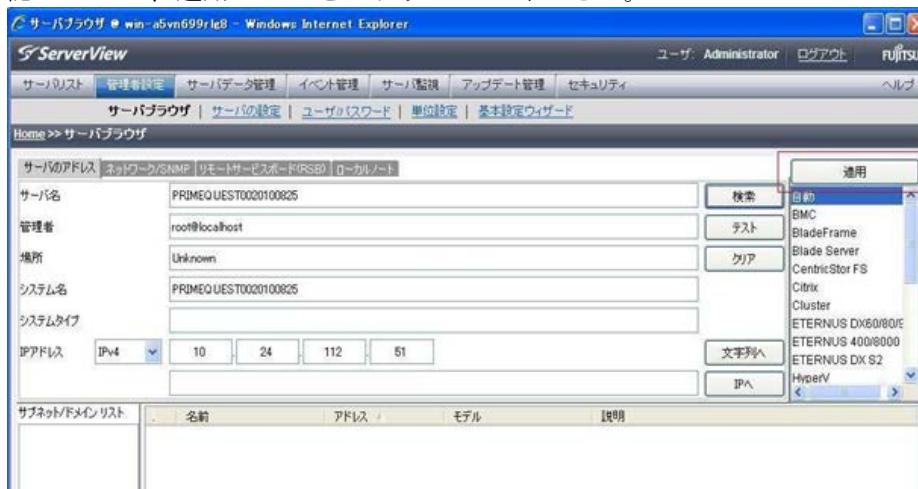
ESXi 6.5 / 6.7 で VMware Host Client を使用する場合：

1. ブラウザで VMware Host Client(<http://<esxi-host-name>/ui> または <http://<esxi-host-IP-address>/ui>)を開き、対象の ESXi サーバにログインします。
2. 「管理」⇒「システム」タブ⇒「詳細設定」をクリックします。
3. 「Security.AccountLockFailures」キーを選択し、「オプションの編集」をクリックします。
4. 新しい値として 0 を設定し、「保存」をクリックします。
(0 を設定するとアカウントロック機能が無効となります)

③ 「サーバブラウザ」画面を開きます。

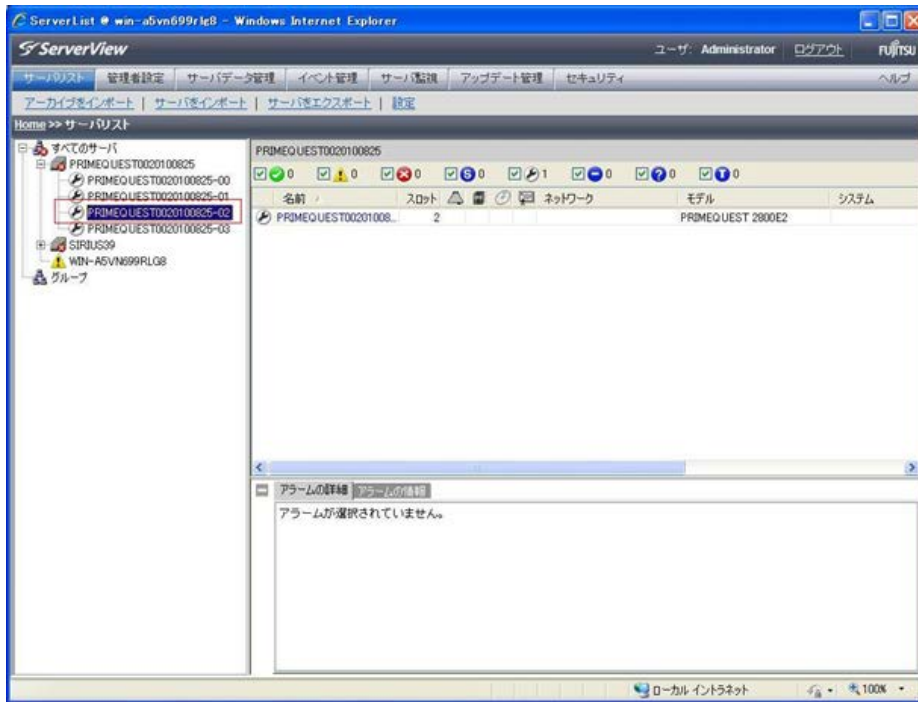
「IP アドレス」に MMB 仮想 IP を指定し、「検索」ボタンをクリックしてください。

以下のとおり、サーバ名などの情報が表示されますので、登録したい PRIMEQUEST である事を確認した上で、適用ボタンをクリックしてください。

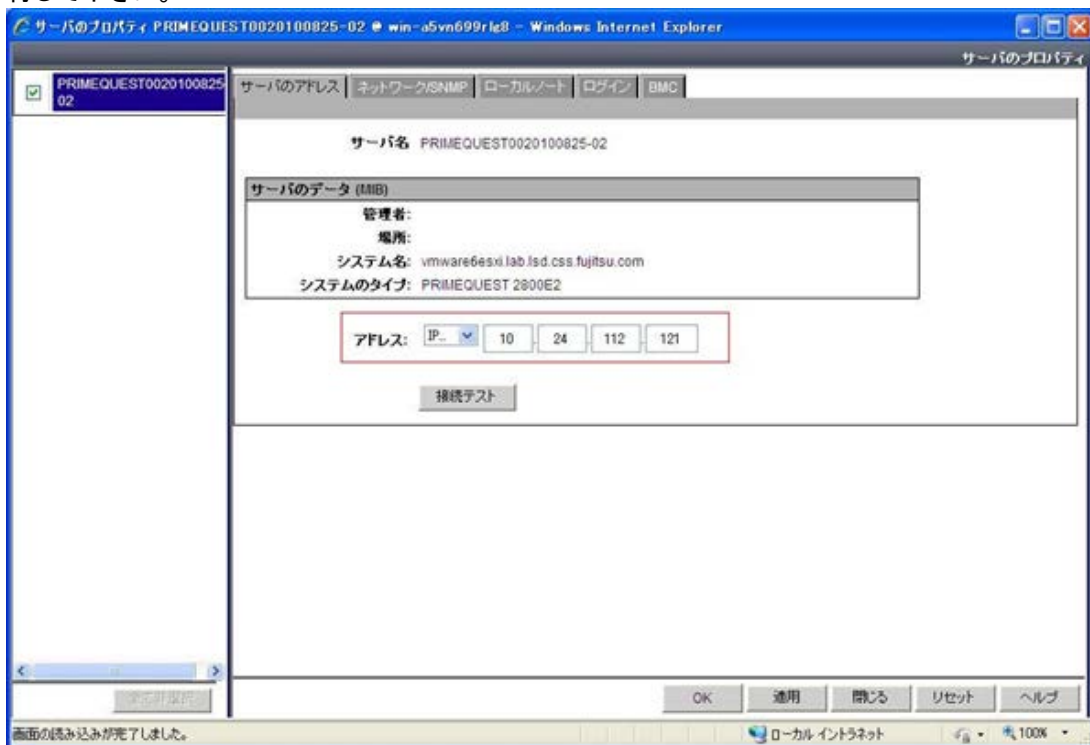


④ サーバリストに新たな PRIMEQUEST の筐体が表示されるので、パーティションのツリーを展開し、VMware vSphere 6 サーバがインストールされているパーティションを選択します。

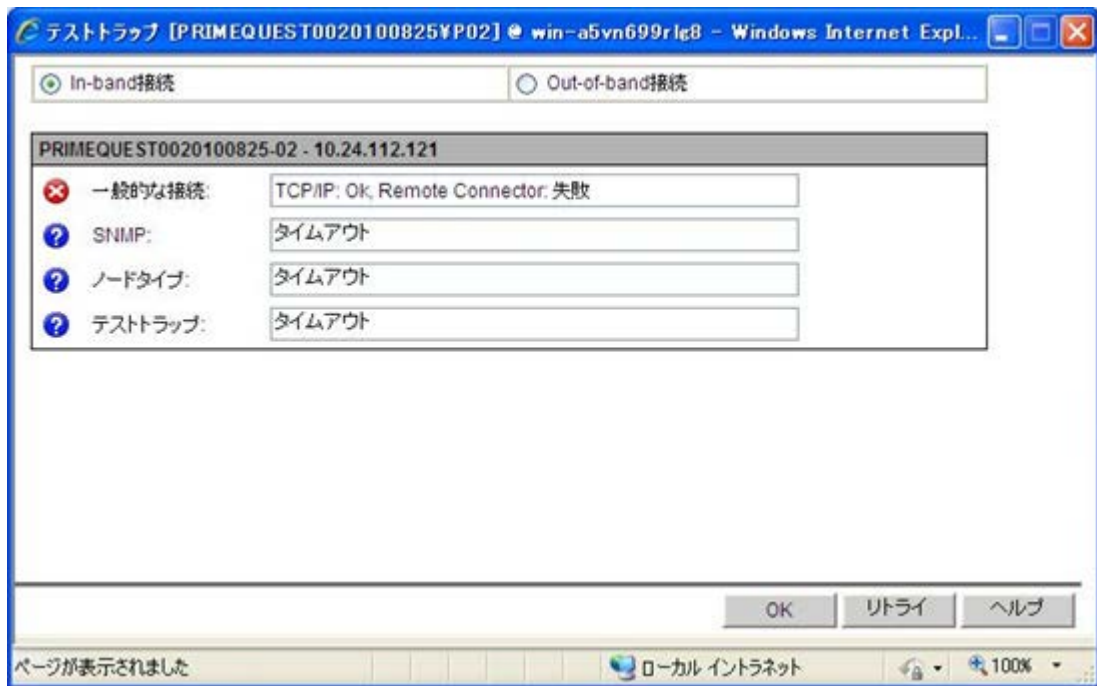
さらに右クリックを実施し、表示されたメニューから「サーバのプロパティ」を選択します。
(以下の例では、Partition #2 を選択しています)



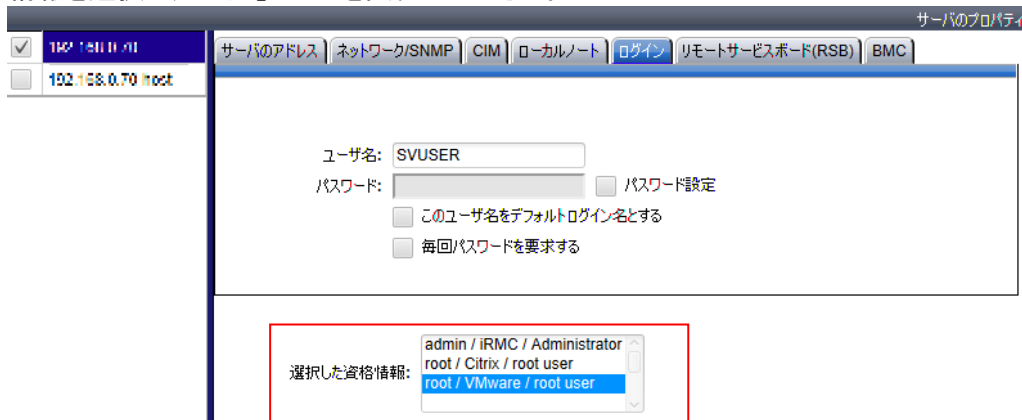
- ⑤ 「サーバのプロパティ」画面が表示されますので、「アドレス」に ESXi の IP アドレスを入力し、適用ボタンを実行して下さい。



この時、接続テストを実施すると、以下の表示となりますが、ここでは、” TCP/IP: OK ” のみ確認して下さい。



- ⑥ ServerView Operations Manager V8.20 以降を使用しており、VMware vSphere ESXi6 サーバの検出方法として、「認証情報を設定せずに ESXi サーバを検出する」方法を使用している場合、「ログイン」で使用する資格情報を選択し、「適用」ボタンを実行して下さい。



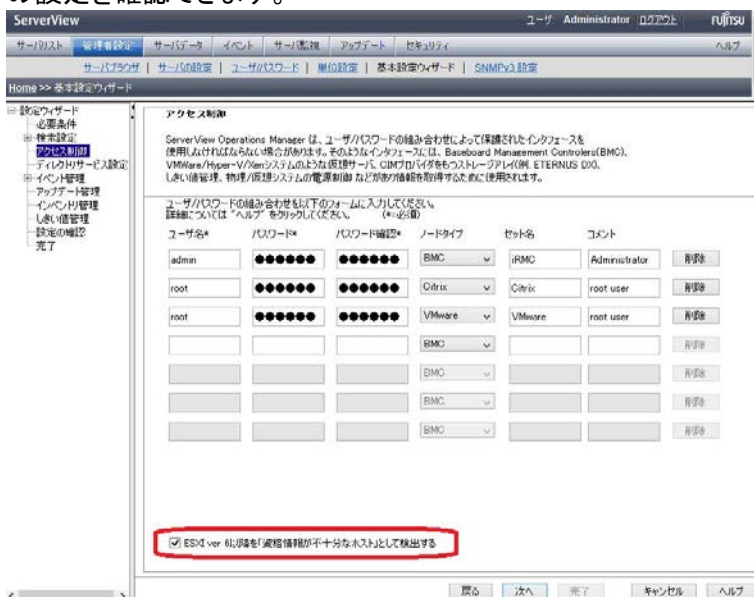
※ 資格情報に表示される内容は、「ユーザ/パスワード」画面でユーザ名 / Set Name / Comment に入力した値です。

VMware vSphere ESXi6 サーバの検出方法の設定内容は以下の手順で確認出来ます。

- A) 起動画面で「管理者設定」-「基本設定ウィザード」画面を開きます。



- B) 「ServerView 基本設定ウィザードへようこそ」画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックし、ウィザードを開始します。
- C) 左ペインにて「アクセス制御」をクリックし、「アクセス制御」画面へ移動します。
- D) 「ESXi ver 6 以降を「資格情報が不十分なホスト」として検出する」項目のチェックボックスで検出方法の設定を確認できます。

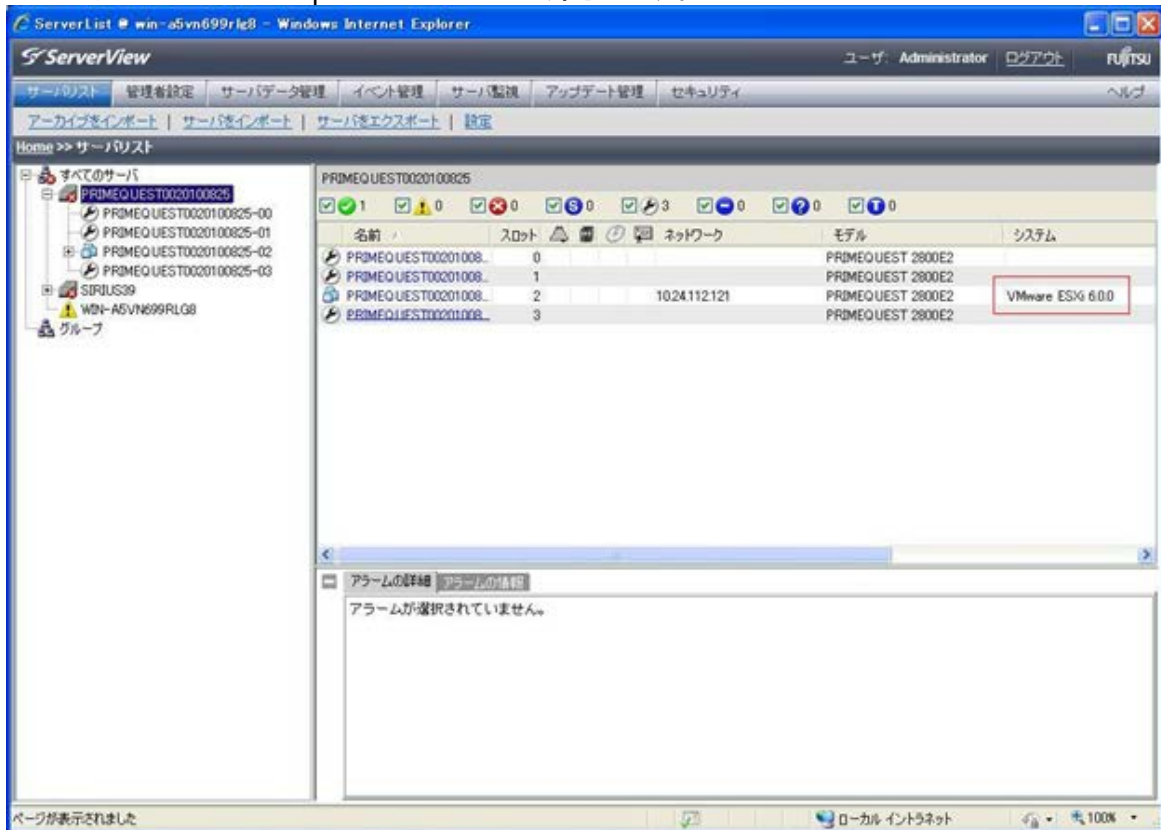


チェック有り：本手順にて資格情報の選択が必要です

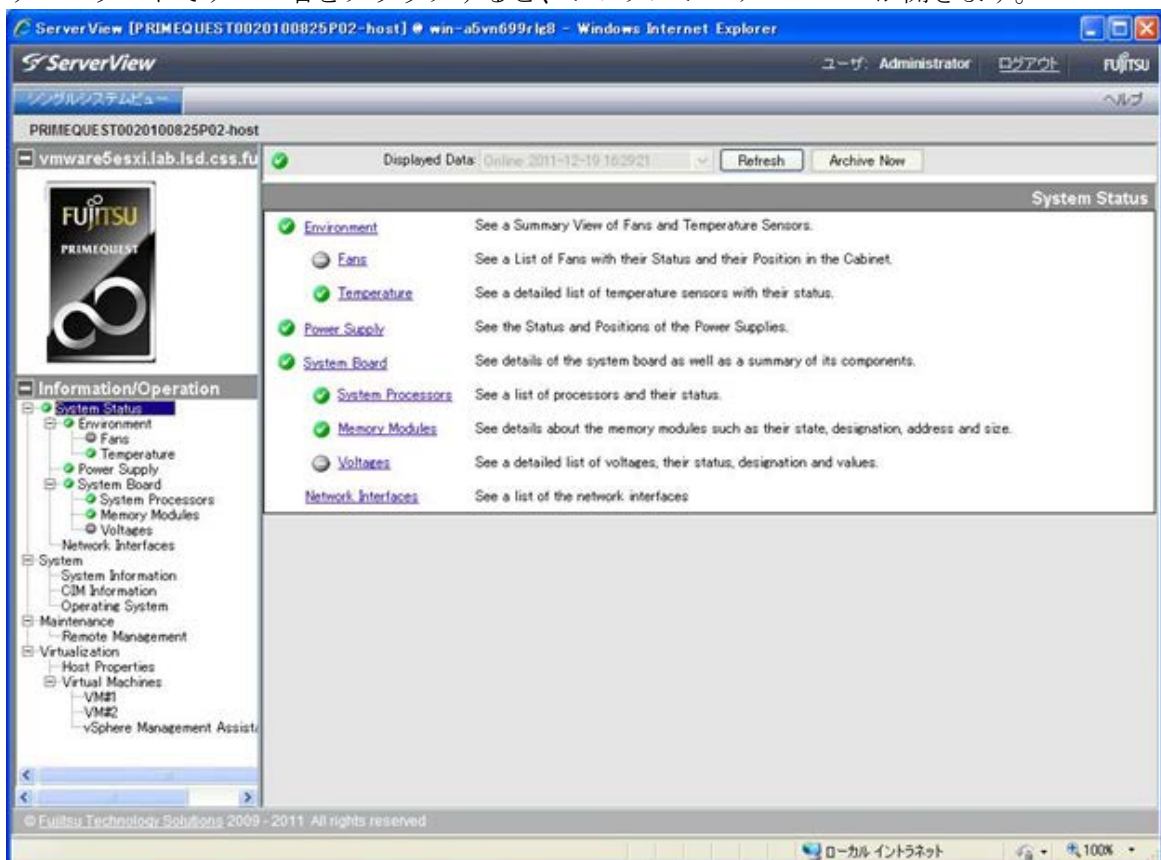
チェック無し：本手順にて資格情報の選択が不要です

※ 本設定の詳細に関しては、ServerView Operations Manager 取扱説明書を参照願います。

⑦ サーバリストに VMware vSphere 6 サーバが登録されます。



サーバリストでサーバ名をクリックすると、シングルシステムビューが開きます。



6. ソフトウェアウォッチドッグの使用について

ソフトウェアウォッチドッグをシステム監視にのみ使用することができます。

以下の条件を満たす設定が必要です。

異常時動作: 継続稼動

タイムアウト時間: 4 分以上

7. vCenter Server V6.0 と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて

vCenter Server V6.0 と ServerView Operations Manager を同一サーバにインストールすることは可能です。

8. VMware vSphere ESXi 6 のロックダウンモードについて

VMware vSphere ESXi 6 のロックダウンモードが有効になっている場合、ServerView Operations Manager で監視を行うことは出来ません。

9. ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について

ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能は未サポートです。

このため以下の動作を実行してもシステムシャットダウンは行われません。

・ServerView Operations Manager

「シャットダウン後電源オフ」

「シャットダウン後リセット」

「ソフトシャットダウン」

10. SVOM クライアント(ブラウザ / Java Web Start)と VMware vSphere ESXi 6 のサーバ間の通信について

VMware vSphere ESXi のサーバ監視を行う場合、従来の SVOM と監視対象間の通信に加えて、以下の通信経路が必要となります。

SVOM クライアント(ブラウザ / Java Web Start) <--> VMware vSphere ESXi 6 サーバ TCP 5988/5989

上記の通信ではシングルシステムビューでの対象サーバの監視情報の取得などを行いません。

11. CIM Indication で使用されるポートについて

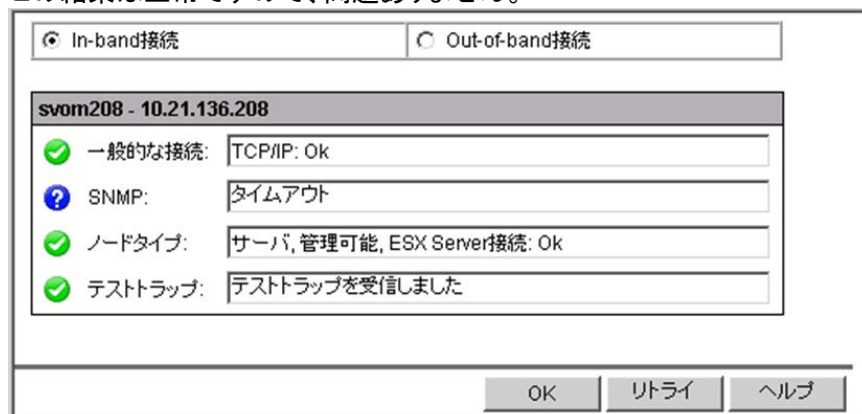
ServerView Operations Manager 上から ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider がインストールされた VMware vSphere ESXi 6 サーバに対して接続テストを行う場合、または CIM Indication を使用してイベント通知が行われる場合、VMware vSphere ESXi 6 サーバ のファイアウォール設定に対し、自動的に [dynamicruleset(3170 ポート)] (SVOM V7.20.07 以前の場合)、または [dynamicruleset(3169 ポート)] (SVOM V7.20.08 以降の場合) が設定されます。

本ポートを閉じてしまうとイベント通知機能は使用できなくなります。

12. 「接続テスト」について

「接続テスト」の結果は、下図のとおりになります。

なお、ServerView ESXi CIM Provider は SNMP をサポートしていないため、「SNMP」がタイムアウトと表示されます。この結果は正常ですので、問題ありません。



また、テストトラップがタイムアウトした場合は、以下の項目を確認してください。

? テストトラップ: タイムアウト

- ・ 「4.ServerView Operations Manager のバージョンについて」で指定されているバージョン以降の SVOM を使用しているか確認してください。
- ・ CIM Indication は、SVOM がインストールされているサーバの TCP ポート 3170 番宛て(SVOM V7.20.07 以前の場合)、または 3169 番宛て(SVOM V7.20.08 以降の場合)に通知されます。このポートがファイアウォールなどによって遮断されていないか確認してください。
- ・ SVOM をインストールした環境で複数の IP アドレス(NIC)を使用しており、且つ、そのうちのいずれかが VMware vSphere ESXi サーバと通信できない IP アドレスの場合、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider からのトラップ(CIM Indication)を受信できない場合があります。
この場合は、VMware vSphere 6 サーバを SVOM のサーバリストに登録する前(既に登録している場合は削除後)に、一旦 VMware vSphere 6 サーバと通信できない IP アドレスを無効にして、その状態で VMware vSphere 6 サーバを登録してください。
登録後、接続テストを実行して、テストトラップを受信できることを確認後、無効にした IP アドレスを有効にしてください。
- ・ 1 台の VMware vSphere ESXi 6 サーバを、複数の SVOM のサーバリストに登録している場合、そのうちのいずれかから VMware vSphere ESXi 6 サーバを削除すると、他の SVOM でトラップ(CIM Indication)を受信できなくなる場合があります。
この場合は、全ての SVOM のサーバリストから対象の VMware vSphere ESXi 6 サーバを削除後、改めて SVOM のサーバリストに登録してください。

13. 富士通専用のインストールイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて

インストールイメージ、またはオフラインバンドルのアップデートを行った場合、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider の版数に変更される場合があります。

14. CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 6 の sfcdb サービスについて

VMware vSphere ESXi 6 サーバの ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider を使用した監視は、VMware vSphere ESXi 6 の sfcdb サービス機能を使用しています。
このため sfcdb サービスが正常に動作していないと VMware vSphere ESXi 6 サーバの監視が正常に行えません。
監視が正常に行えていない場合、sfcdb サービスが正常に動作しているか確認してください。
また、sfcdb サービスを再起動することにより、正常に監視が行えるようになる場合があります。

sfcdb サービスの再起動方法

- ・VMware vSphere ESXi 6 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行
/etc/init.d/sfcdb-watchdog stop
/etc/init.d/sfcdb-watchdog start

※ vSphere の Proactive HA 機能を使用している環境では、事前に Proactive HA 機能を無効にしてから sfcdb サービスを再起動してください。事前に Proactive HA 機能を無効にせず sfcdb サービスを再起動した場合、Proactive HA 機能が発動してしまう可能性があります。

sfcdb サービスの確認方法

- ・VMware vSphere ESXi 6 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行
/etc/init.d/sfcdb-watchdog status

正常に動作している場合は、コマンドの結果が”sfcdb is running”となります。

※ 多数の CIM クライアントを使用しているなど非常に高負荷な場合には sfcdb サービスが正常に動作しなくなる可能性があります。

15. VMware vSphere ESXi 6.0 の Plugins のリソース変更について

VMware vSphere ESXi 6.0 で ServerView ESXi CIM provider を使用する場合は、CIM provider の使用するリソース

が不足し、動作が不安定になることがあるため、以下の手順で plugins のメモリリソースの制限値を変更してください。

※ 上記の制限値の変更は、ESXi が割り当て可能な CIM provider のメモリリソースの上限を引き上げます。この CIM provider のメモリリソースは、予め ESXi 自身が使用するために確保しているメモリリソースから、ESXi 自身の動作に支障がない範囲で必要に応じて割り当て使用されます。そのため、ESXi 自身や仮想マシンの動作に影響はありません。

※ VMware ESXi 6.0 をご使用の場合は、富士通専用インストールイメージ Fujitsu Custom Image ESXi 6.0 Version 352.1.2912439 以降、またはオフラインバンドル Fujitsu Custom Offline Bundle ESXi 6.0 Version 352.1.2912439 以降を適用してください。

なお、インストールイメージ Fujitsu Custom Image ESXi 6.0 Update 2 Version 370.2.3825889 以降、またはオフラインバンドル Fujitsu Custom Offline Bundle ESXi 6.0 Update 2 Version 370.2.3825889 以降を適用している場合は、以下の変更手順を行う必要はありません。

機種毎に利用できるインストールイメージ、オフラインバンドルの版数が異なりますので、ソフトウェア説明書に記載の版数をご利用ください。

[VMware(ヴェイムウェア)]

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>

⇒ VMware のマニュアル

⇒ VMware vSphere 6 ソフトウェア説明書 (PRIMERGY)

(http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/pdf/vm-soft_6.0.pdf)

[変更手順]

1) ダイレクトコンソールユーザーインターフェース(DCUI)または SSH 接続を使用して ESXi シェルへログインします。

ESXi シェルの有効化手順および SSH 接続の許可手順は以下のヴェイムウェア社 Knowledge Base を参照してください。

『Using ESXi Shell in ESXi 5.x and 6.0 (2004746) 』

<http://kb.vmware.com/kb/2004746>

2) Plugins のメモリリソースを 600MB に変更します。

```
# esxcfg-advcfg -A CIMOemPluginsRPMemMax --add-desc 'Maximum Memory for plugins RP'  
--add-default 600 --add-type int --add-min 175 --add-max 600 --add-hidden true
```

3) 設定が変更されたことを確認します。

```
# esxcfg-advcfg /UserVars/CIMOemPluginsRPMemMax -g
```

<出力結果>

```
-----  
Value of CIMOemPluginsRPMemMax is 600  
-----
```

4) CIM サーバを再起動します。

```
# /etc/init.d/sfcbd-watchdog stop  
# /etc/init.d/sfcbd-watchdog start
```

16. 富士通専用インストールイメージによるインストール、またはオフラインバンドルの適用でインストールされるモジュールから、アップデートが必要になる場合

インストールイメージによるインストール、またはオフラインバンドルの適用を行った場合、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider のアップデートが必要になる場合があります。

ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider のアップデート手順の詳細については、「ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider VMware vSphere ESXi 6.0 インストールガイド」または「ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider VMware vSphere ESXi 6.5 / 6.7 インストールガイド」をご参照ください。

インストールイメージ、オフラインバンドル、および ServerView ESXi CIM Provider/ ServerView RAID Core Provider のバージョンの確認方法

- ・ vSphere CLI(別途 VMware 社からのダウンロード、及びインストールが必要です)によるバージョン確認
- A) 「スタート」メニューから、「VMware」⇒「VMware vSphere CLI」⇒「Command Prompt」を実行し、コマンドプロンプトを起動します。
- B) 以下のコマンドで bin フォルダに移動します。
> cd bin
- C) vSphere CLI の以下のコマンドを実行し、fujitsu-conf のバージョンを確認してください。
> esxcli -s <該当 ESXi ホストの管理ネットワーク IP アドレス> -u <ユーザ名> -p <パスワード> software vib list | find "fujitsu-conf"

[出力結果例]

```
fujitsu-conf      6.5.0-412.1.0 Fujitsu PartnerSupported 2018-07-27
```

上記下線部がインストールイメージ、またはオフラインバンドルのバージョンとなります。

- D) vSphere CLI の以下のコマンドを実行し、svscimprovider のバージョンを確認してください。
> esxcli -s <該当 ESXi ホストの管理ネットワーク IP アドレス> -u <ユーザ名> -p <パスワード> software vib list | find "svscimprovider"

[出力結果例]

```
svscimprovider   8.00-16.60 Fujitsu VMwareAccepted 2018-07-27
```

上記下線部が ServerView ESXi CIM Provider のバージョンとなります。

- E) vSphere CLI の以下のコマンドを実行し、raid0 のバージョンを確認してください。
> esxcli -s <該当 ESXi ホストの管理ネットワーク IP アドレス> -u <ユーザ名> -p <パスワード> software vib list | find "raid0"

[出力結果例]

```
raid0            8.00.16-01 Fujitsu VMwareAccepted 2018-07-27
```

上記下線部が ServerView RAID Core Provider のバージョンとなります。

※ カスタムイメージの版数によっては、ServerView RAID Core Provider はデフォルトではインストールされておられません。その場合、上記コマンドでは何も出力されません。

※ ServerView ESXi CIM Provider の更新ではインストールイメージ、オフラインバンドルの版数は変更されません。

17. トラブル対応について

VMware vSphere ESXi 6 上でのハードウェア監視機能は、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider で実現します。

しかしながら、VMware vSphere ESXi 6 上では ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider が利用可能なリソースに制約があり、ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider で問題が発生した時に十分な情報が得られず、原因究明に至らない場合があります。回避策として ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider の再インストール等をお願いする場合がございますので、ご了承ください。

18. ServerView Operations Manager の補足情報

ServerView Operations Manager で監視を行う場合の追加・修正・補足情報を以下の URL で公開しています。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/additional-info.html>

【留意事項: ServerView RAID Manager】

1. ServerView RAID Manager のインストール先について

ServerView RAID Manager を用いて VMware vSphere 6 サーバ上のストレージ監視を行う場合、VMware vSphere 6 サーバ上に以下の条件(注)に該当するゲスト OS を選定し、そのゲスト OS 上に ServerView RAID Manager をインストールして下さい。

注: ServerView RAID Manager をインストールするゲスト OS は 10S のみです。全てのゲスト OS にインストールする必要はありません。

2. ServerView RAID Manager のインストール手順/設定方法について

ServerView RAID Manager をインストールした後は ESXi 6 固有の設定が必要です。

インストール手順と設定方法については、「ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 6 インストールガイド」(別紙)をご参照ください。

3. ServerView RAID Manager から発行される SNMP Trap について

VMware vSphere 6 サーバを監視する場合、ServerView RAID Manager が発行する SNMP Trap は、VMware vSphere 6 サーバを監視する ServerView RAID Manager をインストールしたサーバが Trap の発行元として認識されますのでご注意ください。

4. ServerView RAID Manager の補足情報

ServerView RAID Manager で監視を行う場合の追加・修正・補足情報を以下の URL で公開しています。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/additional-info.html>

【留意事項: ServerView Mission Critical Option for VM】

1. ServerView Mission Critical Option for VM について

ServerView Mission Critical Option for VM は PRIMQUEST 1000 シリーズ用です。PRIMEQUEST 2000 / 3000 シリーズには用意されていません。

2. ServerView Mission Critical Option for VM のインストール先について

ServerView Mission Critical Option for VM を用いて VMware vSphere 6 サーバ上のハード故障を MMB 経由で通報を行う為、VMware vSphere 6 サーバ上に以下の条件(注)に該当するゲスト OS を選定し、そのゲスト OS 上に ServerView Mission Critical Option for VM をインストールして下さい。

注: ServerView Mission Critical Option for VM をインストールするゲスト OS は 10S のみです。全てのゲスト OS にインストールする必要はありません。

3. ServerView Mission Critical Option for VM のインストール手順/設定方法について

ServerView Mission Critical Option for VM をインストールした後は設定が必要です。
以下のマニュアルを参照の上、必要な設定を行ってください。

PRIMEQUEST1000 シリーズ
ServerView Mission Critical Option

4. ServerView Mission Critical Option for VM をインストールするゲスト OS について

ServerView Mission Critical Option for VM は以下のゲスト OS にのみインストールすることが可能です。

ご使用のゲスト OS が以下でない場合には、別途いずれかのゲスト OS を用意して、ServerView Mission Critical Option for VM をインストールしてください。

ServerView Mission Critical Option for VM をインストールすることが可能なゲスト OS:

- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Red Hat Enterprise Linux 5
- Red Hat Enterprise Linux 6

【ServerView ESXi CIM Provider 環境での SVOM の機能の利用可/不可】

カテゴリ	機能	CIM Provider
		ESXi 6 向け
SVOM※1 主な機能	センサステータス情報の取得	○
	パフォーマンス情報の取得	×※2
	イベント通知機能	○
	イベントログへ記録	×
	アーカイブ、インベントリ情報の取得	×
	ASR&R ウォッチドッグ機能	○
	ASR&R スケジュール運転機能	×※3
	閾値監視	×
	電力使用量の監視	×
	ソフトウェア、ファームウェアの管理	×
	接続テスト	○※4
シングルシステムビュー システムステータス	環境	○
	外部記憶装置	○
	電源	○
	ベースボード	○
	ネットワーク	○
	ドライバモニタ	○※5
シングルシステムビュー システム	システム情報の取得	○
	エージェント/CIM 情報	○
	オペレーティングシステム	○
	プロセス	×
	ファイルシステム	×
	ディスクパーティション	×
	リソース	×
シングルシステムビュー メンテナンス	バッテリー情報	×
	システムイベントログ	×
	サーバのプロパティ	×
	ASR&R	○※3
	起動オプション	×
	リモートマネージメント	○
	診断情報収集(PrimeCollect)	×
	オンライン診断	×
	CSS	×
シングルシステムビュー 仮想マシン	物理マシン情報	○
	仮想マシン情報	○
スレッシュホールド マネージャ	閾値監視機能	×
	パフォーマンス監視	×※2
パフォーマンス マネージャ	パフォーマンスの取得	×
	パワーモニタ	×
アップデート マネージャ		×

○: 可能(ただし、ServerView Agents を使用するシステムと内容がことなる場合があります)

×: 不可能

※1) VMware ESXi 6.0 のサーバ監視を行う場合、SVOM V6.31.03 以降をご利用下さい。

VMware ESXi 6.5 のサーバ監視を行う場合、SVOM V7.20.08 以降をご利用下さい

※2) CIM 経由の場合、配下のゲスト OS についてもパフォーマンス監視は未サポートとなります。

※3) スケジュール運転は ServerView Operations Manager から設定できません。

MMB Web-UI で電源投入のスケジュール運転は可能ですが、電源切断のスケジュール運転は未サポートです。

※4) ServerView ESXi CIM Provider は SNMP をサポートしていないため、「SNMP」がタイムアウトと表示されます。この結果は正常ですので、問題ありません。

- ※5) ServerView ESXi CIM Provider V6.31 以降にはドライバモニタ機能が実装されています。
ServerView Operations Manager / iRMC WEB 画面でドライバモニタ情報を表示するためには Fujitsu Custom Image ESXi6.0U3e v382-1 以降, ESXi6.5U1 v412-1 以降、ESXi6.7 v450-1 以降が必要です。
- ・ ドライバが検出したエラーを、ドライバモニタ機能が検出可能な場合、イベントログにエラーが記録されます。
 - ・ ServerView Operations Manager で ESXi 用ドライバモニタ用画面を表示するためには ServerView Operations Manager V8.00 以降が必要です。

更新履歴

版数	変更内容	日付
初版	新規作成	2015年8月11日
2版	「Out-Of-Band 監視」の記載を「リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理」に変更の上、内容追加	2015年9月1日
3版	【監視方法による機能比較(SVOM)】 - ※5の記事内容を修正	2015年9月8日
4版	【留意事項: ServerView ESXi CIM Provider】 - 「5.vCenter Server と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて」を追加 - 「6.カスタムイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて」を追加	2016年1月5日
5版	【留意事項: ServerView ESXi CIM Provider】 - 「5.vCenter Server V6.0 と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて」のタイトルと内容を変更	2016年1月19日
6版	【留意事項: ServerView ESXi CIM Provider】 - 「7. CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 6 の sfcdb サービスについて」を追加	2016年4月26日
7版	PRIMEQUEST1000 シリーズでの VMware vSphere 6 サポート開始に伴いタイトルの修正、および PRIMEQUEST1000 シリーズについての記載を追加 【留意事項: 各ソフトのインストール】 - ServerView Mission Critical Option for VM の情報を追加 【留意事項: ServerView Mission Critical Option for VM】 - 新規作成	2016年9月6日
8版	【留意事項: 各ソフトのインストール】 - 「1.監視対象サーバ用エージェントソフトについて」の記事を修正 【留意事項: ServerView ESXi CIM Provider】 以下の項目に VMware vSphere ESXi6.5 対応の記載追加 - 「1.ServerView ESXi CIM Provider のインストールについて」 以下の項目を新規追加、それに伴い既存の記事の番号を修正 - 「4.ServerView Operations Manager のバージョンについて」 - 「5.SVOM への VMware vSphere 6 サーバの登録方法」 - 「8.VMware vSphere ESXi 6 のロックダウンモードについて」 - 「9.ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について」 - 「10.SVOM クライアント(ブラウザ)と VMware vSphere ESXi 6 のサーバ間の通信について」 - 「11.CIM Indication で使用されるポートについて」 - 「12.「接続テスト」について」 - 「15.VMware vSphere ESXi 6.0 の Plugins のリソース変更について」 - 「20トラブル対応について」 【監視方法による機能比較(SVOM)】 注釈の記事を修正、番号を振り直し その他語句の修正	2017年1月11日

9 版	<p>【重要】</p> <ul style="list-style-type: none"> - リモートマネジメントコントローラの記載を MMB WEB-UI に修正 <p>【留意事項:各ソフトのインストール】</p> <ul style="list-style-type: none"> - リモートマネジメントコントローラの記載を MMB WEB-UI に修正 <p>【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「4.ServerView Operations Manager のバージョンについて」を修正 - 「9.ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について」を修正 <p>【留意事項:ServerView Mission Critical Option for VM】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 版数の誤り修正 <p>【監視方法による機能比較(SVOM)】を【ServerView ESXi CIM Provider 環境での SVOM の機能の利用可/不可】に修正</p> <ul style="list-style-type: none"> - リモートマネジメントコントローラに関する記述削除 	2017 年 1 月 11 日
10 版	<p>【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「7.ServerView Operations Manager への VMware vSphere ESXi 6 サーバのユーザ/パスワードの登録について」の内容を修正・追加 	2017 年 1 月 31 日
11 版	<p>【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「15.VMware vSphere ESXi 6.0 の Plugins のリソース変更について」の内容を修正 	2017 年 3 月 13 日
12 版	<p>【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「11.CIM Indication で使用されるポートについて」の内容を修正 - 「12.「接続テスト」について」の内容を修正 <p>その他語句の修正</p>	2017 年 3 月 28 日
13 版	<p>タイトルを PRIMEQUEST 3000 シリーズを含んだものに変更</p> <p>【重要】</p> <ul style="list-style-type: none"> - PRIMEQUEST 3000 シリーズのマニュアルを追加 <p>【留意事項:各ソフトのインストール】</p> <ul style="list-style-type: none"> - [監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャソフトのインストール可否]の内容を修正 <p>【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「1.ServerView ESXi CIM Provider のインストールについて」の参照マニュアルを修正 - 「3.VMware vSphere のアップグレードを行う場合」の内容を追加 - 「4.ServerView Operations Manager のサーバ監視について」のタイトル及び内容を修正 - 「ServerView Operations Manager への VMware vSphere 6 サーバの登録方法」のタイトル及び内容を修正 - 「13.富士通専用のインストールイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて」のタイトル及び内容を修正 - 「16.富士通専用のインストールイメージによるインストール、またはオフラインバンドルの適用でインストールされるモジュールから、アップデートが必要になる場合」を追加 <p>その他語句の修正</p>	2017 年 12 月 12 日
14 版	<p>ServerView RAID Core Provider 及び、ESXi 6.7 に関する内容修正</p> <p>その他語句の修正</p>	2018 年 07 月 30 日
15 版	<p>【重要】</p> <p>監視手段についての注釈を追加</p> <p>【本体監視について】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「14. CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 6 の sfcbd サービスについて」の内容を修正 <p>その他語句の修正</p>	2018 年 10 月 09 日

16 版	<p>【留意事項:各ソフトのインストール】 ServerView RAID Core Provider が ServerView ESXi CIM Provider に同梱で公開されているとの情報を追加</p> <p>【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「2. ServerView ESXi CIM Provider / ServerView RAID Core Provider の機能について」を修正 - 「4. ServerView Operations Manager のサーバ監視について」を修正 - 「18. ServerView Operations Manager の補足情報」を追加 <p>【留意事項:ServerView RAID Manager】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「4. ServerView RAID Manager の補足情報」を追加 <p>【留意事項:ServerView Mission Critical Option for VM】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「4.ServerView Mission Critical Option for VM をインストールするゲスト OS について」を追加 <p>その他語句の修正</p>	2019 年 10 月 04 日
17 版	PDF のしおりを修正	2019 年 10 月 22 日

以上